豊島
TOYOSHIMA

報道関係者各位
プレスリリース

2026年11月19日
豊島株式会社

児童のアイデアがラグビーチームグッズに！
白鳥小学校で育てたコットンをトヨタヴェルブリッツ公式グッズへ
～豊島のサススポ！・トヨタヴェルブリッツ・白鳥小学校の共創プロジェクト～

快適なライフスタイルの提案を進める豊島株式会社（本社：名古屋市中区、代表取締役社長：豊島晋一）は、スポーツチームと連携し、サステナブル素材や資源循環の仕組みを活用しながら、地域課題の解決や商品開発に取り組むプロジェクト「サススポ！」を展開しています。
このたび、その一環として、ラグビーユニオンチームのトヨタヴェルブリッツおよび名古屋市立白鳥小学校と連携し、「サススポ！コットン収穫&セレモニー」を2026年11月4日(水)に実施しました。当日は、同校の児童が栽培したコットンの収穫と、トヨタヴェルブリッツの山口修平選手、百地龍之介選手への贈呈式を行いました。
さらに今回の取り組みの成果として、収穫したコットンを一部使用し、児童たちのアイデアをもとに、キーホルダー、抱き枕、ハンカチをトヨタヴェルブリッツの公式グッズとして数量限定で商品化し、2027年2月にパロマ瑞穂ラグビー場にて開催されるヴェルブリッツの試合会場にて販売する予定です。

サススポ！

TOYOTA VERBLITZ



■豊島・トヨタヴェルブリッツ・白鳥小学校、連携の背景について

豊島では、20年以上続くオーガニックコットン普及プロジェクト「ORGABITS」や、日本国内の海岸で回収されたペットボトル等をリサイクルし新たな製品として生まれ変わらせる「UpDRIFT®」など、さまざまなサステナブル素材や資源循環に取り組んでおり、これらを通じて、スポーツチームと連携しながら地域課題の解決や商品開発に取り組むプロジェクト「サススポ！」を展開しています。

「ORGABITS」では、2009年より、栃木県渡良瀬遊水地にあるNPO法人「渡良瀬エコビレッジ」と協働し、様々なファッションブランドの皆さまに年3回実施する「種まき・草むしり・収穫」にご参加いただき、洋服の原料であるコットンがどのように育つのかを、栽培活動を通じて知っていただく取り組み「和綿 meets ORGABITS」を実施しています。
＊和綿…日本で昔から育てられてきた、日本の風土に適した綿

トヨタヴェルブリッツと名古屋市立白鳥小学校は2024年より、トヨタヴェルブリッツの選手やスタッフが同校を訪問し、ラグビーに関する講話やタグラグビーの指導、生き方・キャリアに関する授業を実施するなど、継続的な交流を行っています。また、児童が考案したアイデアをもとに、オリジナルグルメやグッズを企画するなど、様々なコラボレーションにも取り組んでいます。

こうした豊島のコットン栽培に関する知見と、トヨタヴェルブリッツと白鳥小学校の継続的な交流を背景に、今回の取り組みが実現しました。豊島が展開する「サススポ！」を通じて３者が連携し、児童たちが自らの手で衣服の原料となるコットンを育て、収穫する取り組みを実施しました。さらに、収穫したコットンを使用したトヨタヴェルブリッツのオリジナルグッズについて児童たちがアイデアを出し、そのアイデアを実際の商品化へと繋げます。一連の活動を通じて、児童たちが人・もの・環境との繋がりを、衣服を通じて学ぶ機会を創出します。

■種まき・草むしりからグッズの企画まで、児童たちがすべてを担当

2026年5月29日、総合学習の時間に、児童たちはまず、洋服がコットンからできていることや、育て方について学びました。その後、6月10日に学校の花壇に種を植えました。次の7月15日には、真夏の暑い日差しの中、発芽したコットンに十分な日光や栄養が行き渡るよう、草むしりを行いました。夏休み期間中には、児童たちが交代で水やりを行いました。また、草むしりと同日に、トヨタヴェルブリッツの選手から、収穫したコットンを使ってグッズ製作することを伝えるビデオメッセージが上映されました。児童たちは大きな歓声を上げ、興奮に包まれました。9月29日と10月14日には、収穫したコットンをトヨタヴェルブリッツのどのようなグッズに活用するかについて、夏休みの間に考えたアイデアの発表会を開催しました。キーホルダー、ハンカチ、靴下や抱き枕、また白鳥小学校のオリジナルキャラクターを掛け合わせたグッズなど、さまざまなアイデアが発表されました。

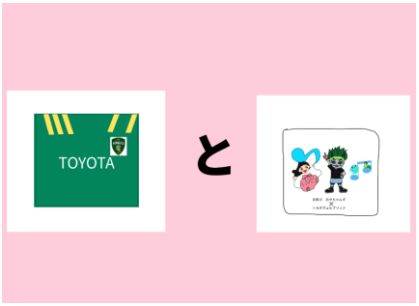






▲授業・種まき・草むしりの様子







▲児童がプレゼンした、グッズのアイデア(一部)

■11月4日(水)開催「サススポ！コットン収穫＆セレモニー」の様子

11月4日(水)には、収穫と、収穫したコットンを児童たちからトヨタヴェルブリッツの山口修平選手、百地龍之介選手へ手渡すセレモニーが行われました。かごいっぱいのコットンを収穫することができ、受け取った山口選手と百地選手は「大切にグッズに使わせていただきます」とコメントしました。



さらに児童たちが考えたアイデアの中からグッズ化が決定したアイテムが発表されました。決定したアイテムはキーホルダー、抱き枕、ハンカチです。このうち一部のグッズに、今回児童たちが育てて、収穫したコットンが使用されます。自分のアイデアが選ばれた児童たちからは、「やったー！」といった喜びの声が上がりました。今後は、グッズのアイテムが決定したことを受け、児童たちが引き続きデザインを考えていく予定です。

■児童のアイデアによって誕生したアイテムが、2027年2月に公式グッズとして販売予定

この度児童たちのアイデアによって製作が決定したキーホルダー、抱き枕、ハンカチは、2027年2月にパロマ瑞穂ラグビー場で開催されるヴェルブリッツの試合会場にて、公式グッズとして販売する予定です。販売に向け、最終のデザインを絞り込み、販売方法やプロモーションも考案する予定です。3つのアイテムのうち、キーホルダーには児童たちが自ら育て収穫したコットンが一部使用されます。

■サススポ！について

「サススポ！」は、さまざまなサステナブル素材や資源循環の仕組みを活用し、スポーツチームと連携しながら、地域課題の解決や商品開発に取り組むプロジェクトです。本プロジェクトでは、 20年以上続くオーガニックコットン普及プロジェクト「ORGABITS」をはじめ、日本国内で回収されたペットボトル等をリサイクルし新たな製品として生まれ変わらせる「UpDRIFT®」、日本国内で廃棄された繊維製品を再循環させる「WAMEGURI」、未活用食材を染料として再活用する「FOOD TEXTILE」など、さまざまなサステナブル素材や資源循環の仕組みを活用しています。

※「サススポ！」は商標取得しております。

■トヨタヴェルブリッツ　https://verblitz.toyotatimes-sports.toyota/

1941年にトヨタ自動車工業ラグビー部として創設。全国社会人大会で5度、日本選手権で3度の優勝に輝き、多くの日本代表選手も輩出してきました。ヴェルブリッツというチーム名は、イタリア語で緑を意味する「VERDE」と、ドイツ語で稲妻・強さを意味する「BLITZ」から由来。伝統の緑ジャージを身にまとい、常にトヨタが世界を驚愕させる先駆者であり、力強い風雲児であることを象徴しています。

愛知県、ホストタウンの豊田市、みよし市、名古屋市と連携しながら様々な地域貢献活動に取り組み、ラグビーを通じて人と人、地域と企業をつなぎ、スポーツの枠を超えた社会価値の創出に挑戦しています。

■豊島株式会社　https://www.toyoshima.co.jp/

1841年の創業以来、180年を超える歴史を礎に、グローバルな原料調達から最終製品の企画・生産管理・納品まで、ライフスタイル産業のサプライチェーンを総合的に担っています。様々なニーズに寄り添うため、事業領域を雑貨・コスメ・食品へと拡大。サステナブルプロジェクトの推進に加え、多種多様な連携による価値創造や、テクノロジーを活用した新たな価値提案にも注力しています。2019年より掲げるステートメント「MY WILL（マイ ウィル）」のもと、持続可能なライフスタイルの実現に向けて挑戦を続けています。